

第16回春季東北地区高等学校軟式野球大会宮城県大会
第71回宮城県高等学校軟式野球春季大会 感染予防対策ガイドライン【軟式大会版】

令和4年 4月28日
宮城県高校野球連盟軟式部会

1. 開催中止の判断

- ① 宮城県教育委員会や仙台市教育委員会から、部活動の大会自粛の指示が出た場合は中止とする
- ② 大会前、大会中に関係者から感染者が発生した場合は、日本高野連が策定した対応表に沿って、次の通りとする

	感染者が発生した場合の対応	濃厚接触者となった場合の対応
大会役員 審判員	感染者以外の大会役員、審判委員が感染者とどのような接触歴があったかを確認する。保健所から濃厚接触者の指定を受けた場合は保健所の指示に従う。その間は別の大会役員、審判委員が運営にあたる。	当該者は保健所の指示に従い行動する。その後、保健所の指示に従い検査を実施し陰性が確認され、体調不良や高熱などの症状が出なかった場合は復帰可とする(経過観察期間など十分に確認する)。
指導者 部員	当該校は保健所から陽性者以外の濃厚接触者の特定や今後の行動に関する指示を行う。当該校は感染者、濃厚接触者以外の行動を参考にチーム内の体調不良者がいないかを確認した上で大会参加を判断する。大会参加については当該校の意向を踏まえ、運営委員会で決定する。	当該者は保健所の指示に従い行動する。当該校はそれ以外の指導者、部員で試合参加を検討する。当該者は保健所の指示に従い検査を実施し、その後体調不良や高熱などの症状が出なかった場合は試合参加可とする。

2. 来場者の健康管理

- ① 検温と健康観察を継続して行うこと。また2週間前からの行動歴(いつ、どこに行き、誰と会ったか)を記録しておく。
- ② 大会参加について、18歳未満の生徒については保護者の同意を得てから「証明書」と「選手資格証明書」を作成し、同意の得られない生徒は大会には参加・引率しない。
- ③ 大会2週間前より、高熱が発生した選手がいた場合は、練習に参加させず医療機関での受診を勧める等の措置をとる。
- ④ 厚生労働省が開発した新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の登録を推奨する。

3. 抽選会・開会式・閉会式

- ① 県大会の抽選会は5月11日(水)に行う。抽選者は学校の顧問とする。
- ② 秋季上位大会の結果を踏まえて、シード校を泉高校・仙台育英学園高校とする。2校は先に抽選を行い、組み合わせを決定する。
- ③ 大会期間中の選手変更は大会規定により認めない。ただし、コロナ感染に伴う選手変更に限り、試

合の前日まで選手変更を認める。その際も選手変更届を提出するものとする。感染が疑われた選手を、再登録する場合にも同様の方法で行うものとするが、その際は最初に登録した背番号にのみ再登録することができる。大会開催前の選手変更は開幕前日の5月20日(金)正午までに尚絅学院高校必着で郵送すること。

- ④ 2試合開催の場合は10時と12時45分試合開始とする。球場に多くの部員が密集しないように配慮する。前の試合が早く試合終了しても、2試合目の試合開始を早めず 45 分以上の間隔をとって行う。2試合目のベンチ入りはベンチの消毒完了後とする。また、試合前の立ち会の時間は第一試合は30分前、第二試合は試合開始予定時刻の1時間前とする。
- ⑤ 県大会の開会式は行わない。閉会式は簡略化して実施する。
- ⑥ 大会中の練習試合は認めないが、敗戦後はこの限りではない。

4. 選手の移動・宿泊・試合観戦等

- ① 送迎バスを利用する場合は、除菌や換気を行い、座席間隔を空けて着席するなど感染防止対策を講じる。
- ② やむを得ず宿泊を伴う場合は、個室や食事の個別提供が可能な宿泊場所とし、宮城県高野連宛に事前に連絡する。また、不要不急の外出は自粛してもらう。
- ③ 移動中や試合会場で食事をとる場合は、人と人との間隔(できるだけ2m最低1m)を空け、対面になることを避けるように努める。
- ④ 昼食をとるためにスタンド等を利用しても構わないが、試合観戦やビデオ撮影を目的に球場内に入ることは、感染予防の観点から禁止する。

5. 試合

- ① チーム関係者は起床後検温、体調チェックを行い、その結果を責任教師は検温確認表(様式A)に記載した上、メンバー表交換時に大会役員に提出する。起床後あるいは球場入場時に 37.5℃以上の発熱や体調不良(倦怠感、呼吸困難など)が発生した場合は、球場への来場、入場することを禁止し、速やかに医療機関を受診する。その場合、責任教師は速やかに大会本部まで連絡する。
- ② チーム毎にマスク着用を励行し、手指消毒を行う等の感染予防に努める。
- ③ 道具については試合前後の除菌消毒を徹底する。なお、ヘルメットに関してはSGマークのついた破損していないものであれば、多少の違いを認める。
- ④ 飲料水やタオル等は個人専用とし、共用で使用するジャグ・カップ等は使用しない。
- ⑤ 円陣を組んでのミーティングや試合前後の挨拶を禁止する。タイムをかけて話し合う場面では、グラブで口を覆ったり、対面で話すことがないように工夫する。また、ハイタッチ等の接触を伴う行為は自粛する。
- ⑥ 試合後の校歌斉唱は適度な間隔を保った上で行う。
- ⑦ 試合前後の挨拶は、発声を自粛し一礼のみとする。
- ⑧ シートロック後、5回終了時、試合後のグラウンド整備は当該校で行う。
- ⑨ 試合後は、ベンチ内の除菌作業を責任教師同席のもと当該校で行う。
- ⑩ 審判が 4 人制でない場合もある。

- ⑪ 新入生のユニフォームが間に合わない場合は、白ユニフォームでの参加を認める。

6. 応援・観戦

- ① 県大会期間中は無観客試合を原則とする。来場できるのは、加盟登録された選手、マネージャー、指導者、選手の家族(部員1名につき原則2名)、学校教職員、アルバム写真業者のみとする。チーム関係者からは事前に「入場申請書」を試合毎に作成し球場受付で提出してもらい、入場を認める。入場者は検温と手指消毒を徹底する。
- ② 入場者は、スタンドで両手が届かない間隔を空けて試合を観戦する。声を出しての応援は自粛し、拍手やメガホンをたたく行為のみとする。ハイタッチや座席の上に立ったり、一カ所に集まる行為、タオルを回す行為がないように事前告知を行う。

7. 大会運営

- ① 県大会を運営するにあたり、各チームから参加費 10,000 円を集め、大会の諸費用にあてる。
- ② 試合球は大会本部で用意する。
- ③ 運営委員も事前に検温を済ませ、手指消毒を徹底する。大会本部は密集を避ける工夫を施し、パソコンやアナウンスマイク等は使用者が代わる度に消毒する。
- ④ 場内アナウンスやSBOに関しては、マネージャーの協力が得られない場合は運営委員が行う。運営委員不足により場内アナウンスがない場合もある。
- ⑤ 1回戦より運営委員によるインニング速報を行う。
- ⑥ 選手の健康管理のため、球数制限の運用を行う。試合前に投球実績表を責任教師に配付し、球数を確認し、1週間内に 500 球を越えないように選手の健康管理に努める。関節機能検査については、医療関係者と調整を行い、可能な限り実施する。
- ⑦ 大会中、本部に看護師を常駐させるよう努める。来場者の中に発熱や体調不良など感染が疑われる人が出た場合は検温を行い、疑いがあるようであれば保健所の電話相談窓口連絡して指示を受ける。
- ⑧ 審判員も事前に検温を済ませ、手指消毒を徹底する。審判員への給水は審判団に依頼する。感染予防のため、タオル提供は行わない。

8. 感染者が発生した場合の対応

- ① 大会前、大会中に大会関係者、チーム関係者から感染者や濃厚接触者が発生した場合は、1の「大会前、大会中に関係者から感染者が発生した場の対応について」を参考に対応する。
- ② 大会を終えた後、14 日間以内に部員が新型コロナウイルスに感染した場合は、速やかに宮城県高等学校野球連盟に書面にて報告する。
- ③ 球場で観戦後、14 日以内に一般入場者や学校応援者が感染者となった場合、大会中であれば大会本部、大会後であれば宮城県高野連軟式部事務局(尚絅学院高校)まで連絡してもらう。
- ④ ③となった場合、試合会場となる球場とも情報共有し、保健所の指示に従いホームページで感染者発生の情報発信や観戦した観客への連絡等然るべき措置をとる。

9. 参加校の大会参加可否の判断基準

- ① 大会中、参加校から感染者ならびに感染の疑われる者(濃厚接触者)が判明した場合、参加校責任教師から情報収集(感染者数, 行動歴, 保健所の指示内容)に努める。
- ② 当該校は感染者, 感染が疑われる者の人数や行動歴, 保健所の指示を踏まえ, 当該校校長が参加の可否を判断する。
- ③ 大会への参加を辞退する場合は、「大会参加辞退」が学校長判断のもと確定しだい, 責任教師が理事長に電話連絡を行う。その後, 「大会参加辞退届」を宮城県高等学校野球連盟軟式部事務局(尚絅学院高校瀬野苑)に郵送により提出する。
 - ・ 文書作成期日は電話連絡を行った日時とする。
 - ・ 学校長の押印を必要とする。
 - ・ 辞退理由は「大会参加規程によるもの」とする(詳細は必要なし)。
- ④ 主催者は参加校校長の判断を尊重し対応する。しかし, 当該校の感染状況(部内での集団感染や集団感染が予見されるなど)によっては運営委員会を開き, 出場を差し止めることもある。
- ⑤ なお, 参加校から感染者や感染が疑われる者が発生した場合, 大会日程・組み合わせ表は原則として変更しない。ただし, 日程を繰り下げることによって当該校の大会出場が可能な場合は, 臨時の運営委員会を開き日程を検討することもあり得る。その場合, 同一回戦の日程で日程変更を検討することを原則とする。
- ⑥ 連合チームの申請後の, 不祥事や参加辞退届による選手不足は再連合を認めず, 関係校はすべて不戦敗とする。